

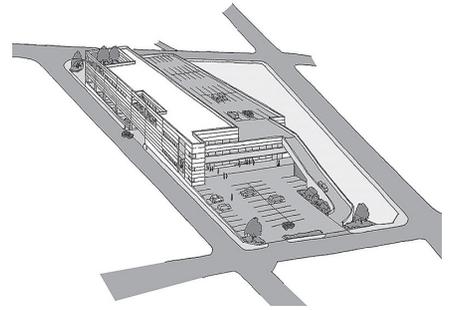
② 現在の取り組み

市内に本社を置く(株)ツルヤ様の誘致を行いながら、用地の確保をはじめ事業促進に向け、市が中心となり一体的な取り組みを行っています。

※スーパーマーケットの誘致にあたっては、集客力が高く、継続的な営業を行っていただける事業者がふさわしいと考えています。そこで、(株)ツルヤ様は、小諸市に本社を置き、小売業として県内トップのブランド力を持つ優良企業であり、誘致にふさわしいと考えています。

(株)ツルヤ様とは、平成29年12月に再出店に向けた協議を行うこととした覚書を締結し、条件整理を進めています。

また、魅力あるスーパーマーケットの誘致のためには、健全な経営を継続できる一定規模の用地が必要です。現在、相生町では様々な法人の皆さんが土地を所有されているため、市が中心となって一体的に働きかけることで、用地の確保や事業化の促進が可能となります。既に、隣接地を所有するJA佐久浅間様とも、公共事業への用地の協力に向けた話し合いを行っています。



複合型施設のイメージ



事業予定地

③ 整備スケジュール

平成32年末の開業をめざし、整備構想を具体化した「施設基本計画」を平成30年8月頃を目途に策定します。(建築工事は平成31年度中を予定)

※「施設基本計画」の策定には、説明会等を通じて、市民の皆様からご意見をいただくとともに、高齢者福祉センターなどの福祉施設などに関する団体等の皆様とも話し合いを行い、より良い施設となるよう努めます。

また、国道141号線から市庁舎へ通じる街路の拡幅工事(車道の片側1車線と歩道の設置)を、平成30年度に実施する予定です。



街路整備イメージ
(片側1車線・歩道)

	平成30年度				平成31年度				平成32年度		
	~6月	~9月	~12月	~3月	~6月	~9月	~12月	~3月	~6月	~9月	~12月
街路整備	測量・設計・用地取得・工事										
施設整備	基本計画		設計・用地取得		建築工事(17か月)						

④ 財源計画

事業費(概算)は、29億円を想定し、財源として国からの交付金や有利な起債を活用します。また、商業施設については、整備費用相当分をテナント料として出店者から納めてもらう計画です。

市の「長期財政見通し」では、この施設整備を含め、現在予測される他の大型事業を実施しても、健全な財政運営を維持することができます。

※平成29年12月に公表した市の「長期財政見通し」では、「歳入」で人口減少による財源の減少を見込む一方、「歳出」では、複合型中心拠点誘導施設のほか、小学校や保育園、市営住宅の建替えなどの大型事業も計上したところ、平成38年度末時点での基金残高は32億円、地方債残高は168億円、実質公債費比率は10.5%(25%がボーダーラインと言われていました)と見込まれ、健全な財政運営を維持できると判断できます。

事業費(概算)	
施設整備	25億7千万円
(うち商業施設費用)	(9億円)
街路整備費	3億3千万円
合計	29億円

財源	
国からの交付金	6億円
市債(借入金)	11億円
市費	12億円
合計	29億円

①有利な市債の利用により交付税(国から市への財源)が3億円加算されます。

②商業施設の整備費用相当分は、テナント料で回収を予定しています。

昨年12月19日の整備構想発表以降、地元区、関係団体、市内10地区を対象とした説明会を順次開催し、今後も引き続き開催していく予定です。幅広い世代、様々な立場の市民の皆様へ、本整備構想の周知を図り、ご意見をいただくとともに、いただいたご意見の基本計画への反映に努めていきます。